

## 【OG 西さんが「空から日本を見てみよう」に出ました】 ～活躍する卒業生紹介（1）～

テレビ東京にて放映されている「空から日本を見てみよう」（木曜夜 7 時 58 分～）に OG（2005 年 3 月卒業）の西 菜保美さんが出ました（写真 1）。

西さんが出たのは、2010 年 12 月 2 日放送の「江東区」編（写真 2）。しかも「地図制作のプロ集団『昭文社』」の一員として、紹介されました。昭文社は「マップル」シリーズなど、市販道路地図などで特に有名な地図制作会社です（「震災時帰宅支援マップ」でも注目されています）。

その制作部が江東区常盤にあり、そのユニークな概観（写真 3）から、「くもじい」が驚いてやって来ました（という体）。その建物は横から見るとこんな感じです（写真 4）。

写真 5 手前の女性が西菜保美さん。地図制作作業中です。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5

西さんに当日の様子を聞いたところ・・・

---

「イラストレーター (Adobe Illustrator) で高速道路のジャンクションを描いているところを撮られました。残念ながらしゃべったりはしてないので「くもじい」との交流はできませんでした・・・」

「昭文社・地図編集部に取材が入ることになったのはわりと急だったようで、誰がインタビューを受けるかは撮影当日に決まりました。私も撮影の2時間くらい前に上司から「西さんよろしく～！」と声がかかりました。もっと早くから分かってたらオシャレしてきたのになぁ・・・」

---

とのこと。

「くもじい」は急に来るようです (笑)。

そんな西さんから在學生にメッセージをもらいました。

---

卒業してから6年が経ちました。

卒業時は就職課 (現・キャリア形成支援センター) のお世話になりながら、別の会社に就職が決まり、1年間はそちらに勤めていました。しかしながら地図に関わる仕事をしたい気持ちを捨てきれず、転職を決めました。

現在は、昭文社の地図を編集する部署に所属し、日本全国の地図出版物を製作しています。具体的には、新しくできた道路や駅、店舗の情報について、イラストレーター等を使って反映しています。全国の地図を扱うので、入社前に比べてだいぶ地名を覚えました。地図が好きで自分にとっては、毎日いろんな発見があって楽しいです。

最近では地図の電子化が進み、紙地図の需要が減ってきていると言われてはいますが、今回起きた大地震で携帯電話などの通信手段が使えなくなることができず、紙地図が非常に役に立ったという話を聞いています。

自分の仕事が、多くの方々のお役に立てていると思うと本当にこの仕事を続けてよかったと思います。

最後になりましたが、大学で学んだこと全てを仕事に活かすことは難しいかもしれませんが、役に立つことも必ずあります。

例えば私の場合、イラストレーターは地図を作成するにあたり、大変役に立っています。地図の会社でなくとも出版や印刷業界では結構使われているようです。授業でもイラストレーターを使っていることですので、興味のある方はぜひ技術を身につけてほしいと思います。

今は就職難の時代で苦勞をしている学生が多いようですが、私の時も今ほどではありませんが大変でした。このような状況の中、自分が望む職業に就ける人は本当に少数だと思いますが、初めから希望は捨てずがんばってほしいと思います。

それから何よりも国士館の地理には学生のみなさんを最大限にバックアップしてくださる先生方がついています。私も在学中は加藤先生に実習や卒論作成のことを何度も相談しましたが、最後の最後まできちんと面倒見てくださいました。

このようなすばらしい環境が整っている状態で学べることはとても恵まれていることだと思うので、在學生のみなさんには一日一日を大切に学生生活を送っていただきたいと思います。努力したことは必ずあとからついてきます！！

---

プロも使うイラストレーターについては「デジタルマップ製作法」で使い方 (の基礎の基礎) について実習しながら勉強します。

なお、西さんが取り組んだ卒業論文は製本・PDF化して保存されています。地理学教室のホームページ「フロントページ」－「保存卒業論文の閲覧 (PDF)」で探してみてください。

また、卒業論文の調査とその骨子をもとに次の論文として、学会誌に掲載されています。都市地理学に興味ある人は入手して、読んでみるとよいでしょう。雑誌『都市地理学』は地理実習室にあります。

- ・西菜保美・加藤幸治 (2009) : 青梅街道における建築物が描くスカイラインの特徴。『都市地理学』, 第4巻, pp.28-40.